

★会社スローガン★

何も変えないことが一番悪い！

2021年（令和3年）1月18日（月）

2021年新年にあたって



みなさん、明けましておめでとうございませう。昨年の新年メッセージでは、『今年は夏のオリンピックが56年ぶりに日本で開催され』云々が最初に話しました。今から思えば、『何をのんきに！』という感じですが、まさかそれから2カ月も経たずにこのコロナ禍に巻き込まれるとは、神ならぬ身には思いつきません。でも、中国武漢でこのコロナウィルスが猛威を振るい始めたのは、2019年12月の一応日本にもニュースでは、新型ウィルスの流行と伝わっていました。観ていたのは、『対岸の火事』と世界的なパンドエミックスになろうとは、そのコロナウィルスです。現在、第3波の真只中。この年末年始は政府による蔓延防止依頼により外出、帰省もままならず、自宅でご家族と静かなお正月を過ごされたことと思えます。三密回避で、初詣も控えた方が多かったのでは？

さて、58期期首やこの冬の賞与メッセージでお伝えしたように、このコロナは、トコトコの事業にも、大きな影響を及ぼしました。最近の個人面談で何人も人から『この先は通しはどうか？』『この先の見通しはどうか？』『この先は聞かれました。皆さんにご心配をおかけし、経営者として誠に申し訳なく思っております。』

一言で申し上げれば、『トコトコは大丈夫です！』

『トコトコは言葉足らずです。賞与メッセージにも書きませんが、このコロナの最悪期は脱した4、9月期でも、トコトコの損益は黒字であり、もともと優良な財務基盤を損なう事は有りません。ですので、会社の体力であるお金、心配はいりません。』



（社長 櫻井誠健）

そうですね、皆さんの家計で考えれば、月の収入は大きく落ちたけれど、毎月の収支はマイナスとはなっていない。そして、毎月とも蓄えていた銀行の預金は減っていない、という状態を思い浮かべれば、かなりやすいでしょう。しかし、月の収入が大きく下がりますから、一切の無駄遣いは出来ません。でも、子供の将来を考えると、塾や習い事の支出は下げられませんよね。それに相当するのが、会社では教育研修や各プロジェクト活動です。

例えば、ワクチンが開発されようとして国民にいきわたるにはまだ時間がかかります。ましてや、全世界の人々が接種を受けるまでには数年かかるでしょう。よって、このコロナ禍の完全終息にはまだまだ時間が掛かります。

私としては、この1年ウィズコロナを覚悟し、細心の感染対策を行いつつ、変わるであろうコロナ後の社会を見据え、それに対応すべき事を果たして進めたいです。

その施策を実行するのは皆さんです。変化を恐れずは生き残るの变化に対応する会社が生き残るの発案が、一番悪い！』の精神を発揮する時です。

今年1年、コロナなんかには負けず、アフターコロナで輝ける会社創りを、皆でがんばって進めましょう！

横浜金沢事業所 「中小企業新ものづくり・新サービス展」出展！

2020年12月7日から3日間、東京ビッグサイト新青島棟Aホールで開催された「新ものづくり・新サービス展」に出展しました。この展示会、主催は中小企業基盤整備機構。出展要件は、過去5年間に「ものづくり補助金」の申請認定された企業限定というものでした。横浜金沢事業所では、2019年に採択・認定を受けており、今回の出展と相成りました。

展示会では、新たな技術やサービスを幅広く紹介・活用する事を目的としており、出展企業数は645社と大変規模の大きい展示会です。今回、横浜金沢事業所のプラダン加工事業について幅広くビジネスチャンスになると考え応募しました。出展が決定してから開催日まで約1ヶ月半。社として、これだけ大規模の展示会に出展した経験がなく、右も左もわからない中、事務局から配布された冊子頼りに準備を進めていきました。

とにかく大変だったのが、プラダン製品の作製です。展示ブースの装飾については、すべて自作することになり、プラダンで製作することにしたのです。

展示物はもちろん、内壁上に掲示した事業紹介パネルや、展示品を置く展示台、ブース内に設置した椅子に至るまで、全て自社設計・製作したものです。その甲斐あって、数あるブースの中でも、とても目を引く装飾ができました。

また今回、来場者へ配るノベルティとして、スマホスタンドを製作しましたが、社内の感想は残念ながら、社内や既存の取引先様からは、大変好評で、今後も販促商品として、活用していきたいと考えています。



【ノベルティとして作成したスマホスタンド】

出展中の当社のブースに来てくださった方は、3日間で約120名にのぼり、多くの企業様と情報交換をする事ができました。また大変嬉しいことに、早々にご連絡を頂き、取引に至った企業様もあります。今後も機会があれば、展示会をはじめ、宣伝・アピールをする場に積極的に参加していきたいと強く思えた体験でした。

早速ですが、本年も2月15日から26日まで開催される「テクニカルショウヨウコハマ2021」にも出展する事が決まっております。今回は、コロナウィルスの影響でオンラインでの開催となりますので、気軽にスマートフォンやタブレットでも閲覧いただけます。是非、ご自宅等で空いた時間がありましたら覗いてみてください。

（横浜金沢事業所 所長・日比）

※「テクニカルショウヨウコハマ2021」の詳細は、<https://www.tech-yokohama.jp/>に掲載されておりますのでご確認ください。



プラダンで装飾した展示ブースにて右から、日比所長、増田副主任、佐藤さん

拓末会より Vol. 2

皆様こんにちは。前回に続きまして「SDGs」のお話です。今回は本社と厚木事業所の取り組みについてご紹介致します。

★本社/SDGs周知活動：社内報の記事作成や拓末会メンバーによる協力の呼びかけ・コピー用紙削減：裏紙の使用や書類のペーパーレス化（給与明細電子化もその一環です。ご協力お願いします！）

★厚木事業所/構内清掃の実施：毎週月曜の朝礼後、メンバー全員で敷地内の一部エリアと周辺道路を清掃（毎回五百グラム程のゴミが集まります）

次回以降も他の事業所について紹介していく予定です。今後とも拓末会の活動へご協力を賜りたく、よろしくお願致します。

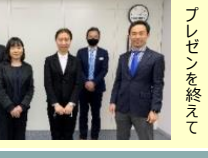
インターシップ実施！

2020年12月7日から11日までの1週間、横浜デザイン学院の留学生が、川崎事業所に実習を行いました。インターシップ生には、KD梱包と納入部品の受入、TTSカード回収などの業務実習を行ういただきました。

実習生の指導をしてくれた、常置Gのトウソンさんにお話をうかがいました。

『インターシップ生の対応は初めての経験で、まだ仕事の経験も浅く、日本語での説明もうまくいか心配でしたが、何とか無事に終わることができました。また、今回のインターシップ生にトコトコの活動・雰囲気を知ってもらい、「トコトコで良い経験を積むことができた」という想いを抱いていただけたのであれば幸いです。そして、私にとっても良い経験となりました。』

最終日には、本社にて今回の実習を振り返り、プレゼンを行ってもらいました。トコトコで働く魅力や実習でみつけた改善点と対策内容で、多くのエピソードを交えた内容でも良いプレゼンでした。



プレゼンを終えて

●昨年11月より、第3回改善AWARDがスタートしました。今回からは、各グループがテーマを選定し改善を行います。どのようなテーマでも良い改善が施されるのか、今回も楽しみですね。

●新型コロナウイルスの影響で延期となっていた「第20回サミット」が2月18日に開催されることとなりました。今回は、発表者以外はWEB参加となる予定です。※今後の状況により、変更の可能性あり

★会社スローガン★
何も変えないことが一番悪い！

2021年（令和3年）1月18日（月）

～トコトコ新春特大号Ⅱ～

内定者懇親会

2020年11月25日、来春入社予定の内定者懇親会を実施しました。内定者6名と先輩社員4名が参加、感染予防を行いながらの会となりました。

内定者の内一名は、なんと海外在住の外国籍の方。今回は、オンラインで繋ぎ、参加してもらったことができました。ランチタイムでは、ご自身でお弁当を用意してもらい、画面越しに皆さんと一緒に食べるという初の試みもあり、賑やかな会となりました。

内定者同士は今回の懇親会が初の顔合わせだったため、開始直後は緊張した面持ちでしたが、会が進むにつれ、表情が柔らかくなり、内定者同士で話をするといった光景が見受けられました。

また、ソーシャルディスタンスを保つ為、例年とは違う内容での実施となつてしまいましたが、内定者同士の顔合わせの機会として、非常に有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。また私も皆さんの入社を楽しみにしております。四月の入社が楽しみです。

（総合サポート課 小黒）



上／本社に集まった内定者の皆さん
左／オンライン参加の様子

改善提案累計表彰①

【累積1500点】
荻窪 久美子（藤沢事業所）

【累計1300点】
木村 卓（横浜金沢事業所）

【累積1000点】
シエラルド（東扇島事業所）

【累計800点】
永島 善太（川崎・計画G）

「日本の企業・文化を知る会」開催

昨年12月、トーンで初の試みとなる「日本の企業・文化を知る会」を開催しました。

日本は立地や民族文化的にも世界に類を見ない特殊な「ハイコンテクスト文化」（高い共有基盤を持った文化）と言われます。欧米など共有基盤が少ないローコンテクスト文化では、しっかりと「言語化」してコミュニケーションを行うそうです。それに対し、日本人は最小限の言語化で行う習性がありませう。「空気を読む」「忖度」「阿吽の呼吸」などはその最たるものでしょう。

このように世界的には「特殊」と言われる文化の中で、外国籍社員が働くのは、大変な苦労を伴うであろうことは、想像に難くありません。

トーンには昨春、5名の外国籍社員が入社しました。その一人一人が、生き生きと輝く会社となれるよう、先輩のバトさんと王さんに自分たちの経験を通じてもらう場を設けたのが「日本の企業・文化を知る会」です。実際の経験談を聞いたことで、参加者は迷いや不安の解消だけでなく、日本語学習のコツなどをお互い共有するなど、今後の日本での社会人生活に大いに役に立つ会となったようです。

（人事人財化担当部長・島田）



改善提案累計表彰②

【累積500点】
櫻井 武海（総合サポート課）
宍道 和弘（川崎・計画G）

【累積200点】
松下 麻美（横浜金沢事業所）
鈴木 麻未（成田事業所）

社内写真展入選作品 ～第14&15回～



『晩秋』
平沼 昌典（藤沢）



『紅葉&光』
山崎 祐介（埼玉比企）



『小皿の上の秋』
中津川 久美子（総サポ）



『夕焼けとススキ』
鈴木 智之（藤沢）



『小さな秋 栗』
櫻井 誠健（本社）



『紅葉』
于 廷勇（習志野）



『紅葉のはじまり』
島田 和彦（本社）

【近所の秋】



『通勤道』
パー シンディー
（川崎）



『朝焼け』
高橋 望
（本社）



『七里ヶ浜の朝焼け』
櫻井 武海
（総サポ）



『冬の朝んぼ』
中津川 久美子
（総サポ）

【冬の朝】



『秋のフルーツとアードバック』
永井 伸明
（本社）



『コロナ以来、妻との初デート／鹿島神宮』
王 小明
（習志野）



『秋苔』
高橋 望
（本社）



『東京湾の秋の空』
東崎 京子
（総サポ）



『多摩川の朝焼』
レ タンクン
（川崎）



『冬朝日のピクサイト』
永井 伸明
（本社）



『冬の朝』
櫻井社長



『我が第二の故郷にそびえたつロックハート城』
國分 満義（川崎）



『朝の東戸塚駅前』
櫻井瑞恒
（本社）



『たくさんの自分』



『青森県立美術館』
小黒 遼馬
（総サポ）

次回の写真展テーマは「光」です。ご応募、お待ちしております